

〔教育委員会 学校教育課 所管〕

10010201 学校教育総務事務

決算書P. 363

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	8,952	10,829	△ 1,877	
国庫支出金				
県支出金	13	13	0	学校基本調査交付金
地方債				
その他				
一般財源	8,939	10,816	△ 1,877	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

児童生徒が等しく教育を受けるための基礎的情報管理を行うとともに、学校経営、学校運営及び教職員の健康保持増進について支援し、安定した教育の振興を図る。

【今年度の取組】

- 1 学校経営のための諸経費 2 臨時職員経費 3 学籍管理システム経費 4 教職員メンタルヘルス委託料
5 学校行事に伴うバス借上料

新入学児童生徒の確実な把握と在校生の学籍管理を行うことができた。学校行事では、市内外の公的機関や工場などでの校外学習を行うことで社会科学習等の関心や理解を深めることができた。

また、感染症対策として必要な消耗品を整備し、感染症予防に寄与している。

【成果の動向】

学校運営の基本的な経費のため、現状を維持するものである。

【今後の事業の方向性】

学校運営の基本的な経費のため、現状を維持していく。

10020101 小学校管理事務

決算書P. 385

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	132,557	136,135	△ 3,578	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	1,889	1,857	32	日本スポーツ振興センター保護者負担金
一般財源	130,668	134,278	△ 3,610	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

小学校において、全ての児童が安全で快適に学習できる教育環境の維持を図り、健やかな成長の一助とする。

【今年度の取組】

- 1 非常勤職員報酬・旅費(学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校介護補助員、学校用務員、学校給食配膳員)
2 各種消耗品費、光熱水費、通信運搬費、災害共済掛金に係る経費

学校保健安全法に基づく学校医等を配置し、児童及び教職員の健康維持、健康回復に寄与した。また、基礎的な学校管理経費及び児童経費の支出、用務員や給食配膳員及び介護補助員を配置することで安定した学校経営が図れた。

【成果の動向】

児童の教育環境の確保のために必要な経費で現状を維持するものである。

【今後の事業の方向性】

光熱水費等の節減を学校に求めながら、児童の教育環境の確保のために現状を維持していく。

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	29,858	25,043	4,815	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	55	57	△ 2	小学校施設行政財産使用料
一般財源	29,803	24,986	4,817	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

小学校施設及び設備を適切に維持管理することにより、児童の安全を確保し、良好な教育環境を保持する。

【今年度の取組】

小学校施設の清掃、警備、消防施設及び電気設備(自動ドア・昇降機等)の保守点検、樹木管理を行った。

【成果の動向】

入札等を実施し経費を節減し、学校施設の適正な維持管理を行い、良好な教育環境を維持した。

【今後の事業の方向性】

平成29年度予算から「小学校施設維持補修事業」を統合した。

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	8,234	8,463	△ 229	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	8,234	8,463	△ 229	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

小学校の各種備品を整備し、教育環境の整備・充実を図る。

【今年度の取組】

小学校の児童及び教職員が使用する机・イスやカーテンなど学校備品の補充、取替えを行った。また、学校間での備品移管による財産の有効活用及び統一規格品の選定により調達コストの削減を図った。

【成果の動向】

学校での精査により購入備品の適正選定を行い、教育環境を維持した。

【今後の事業の方向性】

平成29年度は老朽机の新JIS規格への更新を最小限の経費で行い教育環境を維持していく。

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	12,919	15,057	△ 2,138	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	12,919	15,057	△ 2,138	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市立小学校の施設を補修することにより、良好な状態に回復させ、本来の機能を確保する。

【今年度の取組】

小学校施設の不具合や破損等による消耗品・材料の購入、及び修繕を実施した。

(単位：円)

工事名等	内 容	工事費
施設維持修繕工事	高野小学校漏水修繕工事ほか 小学校9校分の施設修繕工事(78件)	12,673,425
その他(消耗品・原材料代)	電球・グラウンド補修砂ほか	244,771

【成果の動向】

点検や学校からの報告などにより、必要な修繕・補修を行い、学校運営に影響が出ないよう施設を維持する。

【今後の事業の方向性】

点検・確認と学校との連携により、施設の必要な修繕・補修を適切に行っていく。なお、平成29年度予算から「小学校施設維持管理事業」に統合する。

10020106 小学校図書館活動推進事業

決算書P. 393

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	8,264	7,059	1,205	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	8,264	7,059	1,205	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

児童の創造力を培い、豊かな心を育み、主体的学習活動の支援や情報収集活用能力の向上を図るとともに、教員がより効果的な教育活動を行うための支援をする。

【今年度の取組】

学校図書館奉仕員の配置、学校図書館システム機器の借上げ等を行い、学校図書館の運営環境を維持した。

【成果の動向】

主体的学習活動の支援や情報収集活用能力の向上を図り、教員がより効果的な教育活動を行うための教育環境を維持した。

【今後の事業の方向性】

学校図書館奉仕員の配置、学校図書館システム機器の借上げ等を行い、学校図書館の運営環境を維持しながらも、関係課等と連携して、学校司書(学校図書館奉仕員)の資質向上による学校図書館の充実を図る。

10020201 小学校教育振興事業

決算書P. 395

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	13,319	23,631	△ 10,312	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	13,319	23,631	△ 10,312	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

児童の確かな学力を育成するとともに、豊かな心や健康と体力を育む教育を推進する。

【今年度の取組】

- 1 児童音楽鑑賞事業に要する経費
- 2 学校外プール授業に要する経費
(守谷小学校・黒内小学校) 校外プール学習
- 3 採択替えに伴う教師用教科書及び指導書の購入並びに副読本の購入
- 4 小学校スポーツテスト採点に要する経費
- 5 生徒演劇鑑賞事業に要する経費 ほか

学習に必要な消耗品や学習環境を整備することで、児童生徒の学力、体力の定着に寄与することができた。

【成果の動向】

学校運営上、授業に必要なものであり、今後も維持していく。

【今後の事業の方向性】

学校外プール授業に係る経費、採択替えに伴う教師用教科書及び指導書の購入並びに副読本の購入経費、小学校スポーツテスト採点に係る経費等を最小限で支出をするものであり現状維持に努める。

10020202 小学校図書・教材等購入事務

決算書P. 395

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	11,504	28,325	△ 16,821	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	11,504	28,325	△ 16,821	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

小学校で必要な教育教材を整備することにより、児童への教育効果を高める。

【今年度の取組】

学校図書標準が達成されていない学校に重点的に予算配分し、図書充足率の均衡とともに、全体の充足率の維持を図った。

老朽化に伴う教材備品の買替えに加え、平成23年4月に改定された新学習指導要領に基づき、小学校の教科で必要とする教材のほか、小学校教科書に準拠する指導用デジタル教科書を整備することで、児童生徒の確実な学力の定着が図れた。

【成果の動向】

学校図書標準が達成されていない学校の充足率を向上させた。

【今後の事業の方向性】

全ての学校で価値を失った資料の除籍を行うとともに教育活動に有効な資料整備を図り、充足率を向上させる。

10020203 小学校就学援助事業

決算書P. 395

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	11,956	11,680	276	
国庫支出金	1,096	979	117	要保護及び特別支援教育就学奨励費補助金
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	10,860	10,701	159	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

- 1 要・準要保護就学援助費

経済的理由によって就学困難と認められる児童の保護者に対して、就学援助費を交付することにより、義務教育の円滑な実施を図る。

- 2 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に在籍し所得基準に該当する児童の保護者に対して、特別支援学級就学のために必要な経費の一部を支給することにより、特別支援教育の普及奨励を図る。

【今年度の取組】

1 要・準要保護就学援助費

要保護に該当する児童の保護者に対しては、生活保護費では該当とならない修学旅行費及び学校病治療のための医療費の支給を行った。準要保護に該当する児童の保護者に対しては、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童学用品費、入学準備金、学校給食費、学校病治療のための医療費の支給を行った。

支給費目のうち、入学準備金については、入学準備に際し必要となる学用品や通学用品を購入する費用を、未就児世帯に支給するため、新たに創設した。

平成28年度実績 要保護児童20名、準要保護児童156名、入学準備金認定児童18名

2 特別支援教育就学奨励費

学用品・通学用品購入費、校外活動参加費、修学旅行費、新入学児童学用品・通学用品購入費、学校給食費の支給を行った。

平成28年度実績 70名

【成果の動向】

1 要・準要保護就学援助費については、これまでの支給メニューに入学準備金を創設し、支給を早めることにより保護者負担の軽減ができた成果を向上させた。

2 特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担軽減を図った。

【今後の事業の方向性】

支援を必要とする方に対して周知をするため、広報活動に努め、引き続き該当世帯の経済的負担の軽減を図る。

10020204 小学校教育用パソコン事業

決算書P. 395

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	100,283	124,244	△ 23,961	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	100,283	124,244	△ 23,961	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

高度情報化社会の進展に対応した学習環境を整備し、児童の学習意欲や思考力、表現力の向上を図る。また、パソコン機器等に慣れ親しむことを基本とし、技能を身に付けさせる。

【今年度の取組】

現有する情報機器の状態を精査し再リース等を図ることで、経費抑制を図りながら、事業を執行した。

需用費 136,296円 (パソコン機器等修繕料)

役務費 215,784円 (インターネット回線使用料)

委託料 2,393,328円 (学校間ネットワーク)

賃借料 97,536,828円 (校務用パソコン265台、タブレットPC1,351台、電子黒板160台)

【成果の動向】

昨年度の電子黒板の全教室整備に続き、教育用タブレットパソコンを整備し教育環境の向上を図った。

【今後の事業の方向性】

タブレットパソコンや電子黒板などを継続的に配備するとともに、校務の効率化のために、校務システムの導入を図り環境整備の拡充を図る。

10020306 郷州小学校屋内運動場改修事業

決算書P. 397

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	171,301	7,128	164,173	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	171,301	7,128	164,173	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

郷州小学校屋内運動場を改修し、施設の機能確保と教育環境の改善を図る。

【今年度の取組】

屋根及び床の張替や外壁の塗装、電気・機械設備の全面的な改修を実施した。

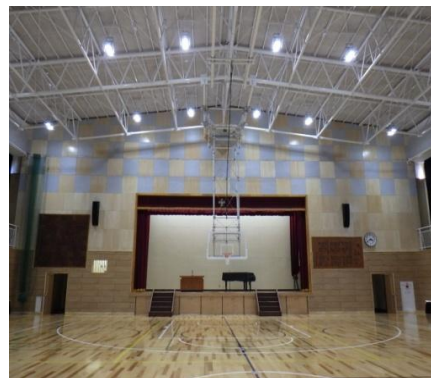
【成果の動向】

改修3工事と施工監理の請負業者を入札で決定し、予定していた内容の工事を工期限内に完了した。

児童が安心して使用できる施設となった。

【今後の事業の方向性】

平成27年度・平成28年度事業であるため、終了した。



郷州小学校屋内運動場

10020308 小学校トイレ改修事業

決算書P. 399

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	70,497	155,808	△ 85,311	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	70,497	155,808	△ 85,311	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市立小学校6校(改修済み又は予定の学校を除く)のトイレ環境改善を図る。

【今年度の取組】

大井沢小学校校舎のトイレ改修を行った。

【成果の動向】

施工監理業者、工事請負3業者を入札で決定し、予定していた改修工事を工期限内に完了し、児童がトイレを快適に使える環境が整った。

【今後の事業の方向性】

本年度工事完了で、小中学校13校の校舎トイレは全て洋式化と乾式化を完了した。



改修後のトイレ

10030101 中学校管理事務

決算書P. 399

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	50,442	53,847	△ 3,405	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	818	782	36	日本スポーツ振興センター保護者負担金
一般財源	49,624	53,065	△ 3,441	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学校において、全ての生徒が安全で快適に学習できる教育環境の維持と健やかに成長することを目指す。

【今年度の取組】

- 1 非常勤職員報酬・旅費(学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校介護補助員、学校用務員、学校給食配膳員)
- 2 各種消耗品費、光熱水費、通信運搬費、災害共済掛金に係る経費
学校保健安全法に基づく学校医等を配置し、生徒及び教職員の健康維持、健康回復に寄与した。また、基礎的な学校管理経費及び生徒経費の支出、用務員、給食配膳員及び介護補助員を配置することで安定した学校経営が図れた。

【成果の動向】

生徒の教育環境の確保のために必要な経費で現状を維持するものである。

【今後の事業の方向性】

光熱水費等の節減を求めながら、生徒の教育環境の確保のために必要な経費で現状を維持していく。

10030103 中学校施設維持管理事業

決算書P. 403

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	15,027	14,291	736	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	26	26	0	中学校施設行政財産使用料
一般財源	15,001	14,265	736	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学校施設及び設備を適切に維持管理することにより、生徒の安全を確保し、良好な教育環境を保持する。

【今年度の取組】

中学校施設の清掃、警備、消防施設及び電気設備(自動ドア・昇降機等)の保守点検、樹木管理を行った。

【成果の動向】

今後も入札等を実施し経費を節減し、学校施設の適正な維持管理を行い、良好な教育環境を維持する。

【今後の事業の方向性】

平成29年度予算から「中学校施設維持補修事業」を統合した。

10030104 中学校管理備品購入事業

決算書P. 405

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	5,863	5,948	△ 85	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	5,863	5,948	△ 85	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学校の各種備品を整備し、中学校の教育環境の整備、充実を図る。

【今年度の取組】

学校間での備品の移管による財産の有効活用及び統一規格品の選定により調達コストの削減を図った。中学校の生徒及び教職員が使用する机・イスやカーテンなど、学校備品の補充、取替えを行ったことで、生徒の学習環境を整備することができた。

学校での精査により購入備品の適正選定を行い、教育環境を維持するものである。

【今後の事業の方向性】

平成29年度は老朽机の新JIS規格への更新を最小限の経費で行い教育環境を維持していく。

10030105 中学校施設維持補修事業

決算書P. 405

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	8,121	6,886	1,235	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	8,121	6,886	1,235	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市立中学校の施設を補修することにより、良好な状態に回復させ、本来の機能を確保する。

【今年度の取組】

中学校施設の不具合や破損等による消耗品・材料の購入、及び修繕を実施した。

(単位：円)

工事名等	内 容	工事費
施設維持修繕工事	守谷中学校駐車場水溜り解消工事ほか 中学校4校分の施設修繕工事(39件)	7,823,768
その他(原材代)	電球・グラウンド補修砂ほか	296,784

【成果の動向】

点検や学校からの報告などにより、必要な修繕・補修を行い、学校運営に影響が出ないよう施設を維持する。

【今後の事業の方向性】

点検・確認と学校との連携により、施設の必要な修繕・補修を適切に行っていく。なお、平成29年度予算から「中学校施設維持管理事業」に統合する。

10030107 中学校図書館活動推進事業

決算書P. 407

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	2,392	3,137	△ 745	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	2,392	3,137	△ 745	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

生徒の創造力を培い、豊かな心を育み、主体的学習活動支援や情報収集活用能力向上を図るとともに、教員がより効果的な教育活動を行うための支援をする。

【今年度の取組】

学校図書館奉仕員の配置、学校図書館システム機器借上などを行い、学校図書館の運営環境を維持した。
また、学校図書館の運営を中央図書館の指定管理者に委託することを検討したが、費用対効果を勘案して現状運営形態を継続することにした。

【成果の動向】

主体的学習活動の支援や情報収集活用能力の向上を図り、教員がより効果的な教育活動を行うための教育環境を維持した。

【今後の事業の方向性】

学校図書館奉仕員の配置、学校図書館システム機器の借上げ等を行い、学校図書館の運営環境を維持しながらも、関係課等と連携して、学校司書(学校図書館奉仕員)の資質向上による学校図書館の充実を図る。

10030201 中学校教育振興事業

決算書P. 407

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	12,026	10,915	1,111	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	12,026	10,915	1,111	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

生徒の確かな学力を育成するとともに、豊かな心や健康と体力を育む教育を推進する。

【今年度の取組】

- 1 生徒音楽鑑賞事業に要する経費
- 2 学校外プール授業に要する経費
- 3 採択替えに伴う教師用教科書及び指導書の購入並びに副読本の購入
- 4 中学校スポーツテスト採点に要する経費
- 5 生徒演劇鑑賞事業に要する経費
- 6 中学校吹奏楽部コンクール参加に要する諸経費ほか

学習に必要な消耗品や学習環境を整備することで、生徒の学力、体力の定着に寄与することができた。また、音楽鑑賞事業や吹奏楽コンクール参加等、学校教育の充実が図れた。

【成果の動向】

学校運営上、授業に必要なものであり、今後も維持していく。

【今後の事業の方向性】

採択替えに伴う教師用教科書及び指導書の購入並びに副読本の購入経費、中学校スポーツテスト採点に係る経費、中学校吹奏楽部コンクール参加に係る諸経費等の支出に加えて、平成29年度から平和教育促進を図り、修学旅行で広島を訪れる際の交通費の一部を負担することで教育活動の拡充を図る。

10030202 中学校図書・教材等購入事務

決算書P. 409

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	14,531	7,055	7,476	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	7,333	0	7,333	教育文化振興基金繰入金
一般財源	7,198	7,055	143	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学校で必要な教育教材を整備することにより、生徒への教育効果を高める。

【今年度の取組】

充足率を維持するため、図書の除籍等に応じて継続して効果的な予算配分をした。老朽化に伴う教材備品の買替えに加え、平成23年4月に改定された新学習指導要領に基づき、中学校の教科で必要とする教材のほか、中学校教科書に準拠する指導用デジタル教科書を整備することで、生徒の確実な学力の定着が図れた。

【成果の動向】

学校図書標準を満たしており、これを維持しながら、生徒に利活用される図書を継続整備していくものである。

【今後の事業の方向性】

学校図書標準を維持するため、図書の除籍等に応じて継続して図書整備を行う。

10030203 中学校就学援助事業

決算書P. 409

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	16,441	14,068	2,373	
国庫支出金	569	414	155	要保護及び特別支援教育就学奨励費補助金
県支出金	76	241	△ 165	被災児童生徒就学支援等事業補助金
地方債				
その他				
一般財源	15,796	13,413	2,383	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

1 要・準要保護就学援助費

経済的理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に対して、就学援助費を交付することにより、義務教育の円滑な実施を図る。

2 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に在籍し所得基準に該当する生徒の保護者に対して、特別支援学級就学のために必要な経費の一部を支給することにより、特別支援教育の普及奨励を図る。

3 被災生徒就学支援費

東日本大震災により経済的理由から就学等が困難となった生徒の保護者に対して、就学援助費を交付することにより、教育機会の確保に資することを目的とする。

【今年度の取組】

1 要・準要保護就学援助費

要保護に該当する生徒の保護者に対しては、生活保護費では該当とならない修学旅行費及び学校病治療のための医療費の支給を行った。準要保護に該当する生徒の保護者に対しては、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学生徒学用品費、入学準備金、学校給食費、学校病治療のための医療費の支給を行った。

支給費目のうち、入学準備金については、入学準備に際し必要となる学用品や通学用品を購入する費用を、入学前に支給するため、新たに創設したものです。

平成28年度実績 要保護生徒8名、準要保護生徒154名、入学準備金認定生徒26名

2 特別支援教育就学奨励費

学用品・通学用品購入費、校外活動参加費、修学旅行費、新入学生徒学用品・通学用品購入費、学校給食費の支給を行った。

平成28年度実績 24名

3 被災生徒就学支援費

準要保護就学援助と同様の支援を実施した。

平成28年度実績 1名

【成果の動向】

1 要・準要保護就学援助費については、これまでの支給メニューに入学準備金を創設し、支給を早めることにより保護者負担の軽減ができ成果を向上させた。

2 特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担軽減を図った。

3 東日本大震災により被災し、経済的理由から就学等が困難となった生徒の保護者に対して必要な援助を行い就学支援を行った。

【今後の事業の方向性】

支援を必要とする方に対して周知をするため、広報活動に努め、引き続き該当世帯の経済的負担の軽減を図る。

10030204 中学校教育用パソコン事業

決算書P. 409

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	49,716	69,088	△ 19,372	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	49,716	69,088	△ 19,372	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

高度情報化社会の進展に対応した学習環境を整備し、生徒の学習意欲や思考力、表現力の向上を図る。社会にあふれている情報を主体的に選択し、活用するための能力を育成する。

【今年度の取組】

現有する情報機器の状態を精査し再リース等を図ることで、経費抑制を図りながら、事業を執行した。

需用費 118,476円 (パソコン機器等修繕料)

役務費 95,904円 (インターネット回線使用料)

委託料 1,060,668円 (学校間ネットワーク)

賃借料 48,440,242円 (校務用パソコン145台, タブレットPC617台, 電子黒板60台ほか)

昨年度の電子黒板の全教室整備に続き、教育用タブレットパソコンを整備し教育環境の向上を図った。

【今後の事業の方向性】

タブレットパソコンや電子黒板などを継続的に配備するとともに、校務の効率化のために、校務システムの導入を図り環境整備の拡充を図る。

10030205 中学校体育大会事業

決算書P. 411

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	13,347	13,633	△ 286	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	793	494	299	茨城県中学校体育連盟補助金
一般財源	12,554	13,139	△ 585	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学校における体育・スポーツの健全なる普及及び発達に資するとともに、学校間のスポーツ交流を図る。

【今年度の取組】

- 1 中学校総合体育大会及び中学校新人体育大会の運営に要する経費
- 2 中学校体育連盟主催大会への参加に要する経費
- 3 関東・全国大会への選手派遣に要する経費
体育大会へ参加することで、生徒のスポーツマンシップの高揚と市内体育・スポーツ活動の活性化を図ることができた。

【成果の動向】

継続して合理的かつ最小限の支出の徹底を図りながら、大会参加経費の負担範囲を拡充した。また、上位大会への参加について試合の登録部員以外の部員についても枠を広げ、生徒のスポーツマンシップの高揚と市内体育・スポーツ活動を活性化させた。

【今後の事業の方向性】

継続して合理的かつ最小限の支出の徹底を図っていく。

10030304 愛宕中学校校舎改修事業

決算書P. 413

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	317,075	60,848	256,227	
国庫支出金	94,219	0	94,219	学校施設環境改善交付金
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	222,856	60,848	162,008	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

愛宕中学校校舎の施設機能の確保と教育環境改善を図る。

【今年度の取組】

校舎改修工事（職員室，教室，トイレほか）及びエレベーター棟増築工事を平成27年・28年度で実施した。

【成果の動向】

平成27年度事業（工事）を平成28年度に繰越して実施し、予定どおり2学期始業までに工事を完了させた。

【今後の事業の方向性】

工事完了により終了した。



改修後の教室

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	96,530	91,102	5,428	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	96,530	91,102	5,428	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市立中学校2校(改修済み又は予定の学校を除く)のトイレ環境改善を図る。

【今年度の取組】

けやき台中学校校舎のトイレ改修を行った。

【成果の動向】

施工監理業者, 工事請負3業者を入札で決定し, 予定していた改修工事を工期内に完了し, 生徒がトイレを快適に使える環境が整った。



改修後のトイレ

【今後の事業の方向性】

本年度工事完了で, 小中学校13校の校舎トイレは全て洋式化と乾式化を完了した。

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	31,237	0	31,237	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	31,237	0	31,237	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

愛宕中学校及び御所ヶ丘中学校格技場の吊天井の落下防止対策と維持補修を行い, 安全安心な教育環境を確保する。

【今年度の取組】

実施設計を行い, 工事予算確保と国補助決定を受けて, 2中学校格技場改修工事を平成29年度から前倒しして起工した。

【成果の動向】

平成28年度後半の国補助金決定, 工事予算確保であり, 工事は平成29年度に繰り越して行う。

【今後の事業の方向性】

工事は平成29年度に完了する予定である。